

2014 年度小規模 NGO 向けスキーム活用研修実施報告

JICA 中部市民参加協力課

1. 背景及び目的

2014 年度に名古屋 NGO センターが実施した NGO の活動及び実態アンケートでは、中小規模の NGO のニーズとして、国際協力事業を実施するには、多額の助成金や委託事業のみではなく、自団体の活動及び人材規模にあった比較的少額な支援を継続的に実施できることを望んでいることが判明した。しかしながら、小規模スキームの支援金は全国的にも少なく、競争率も高いのが現実である。さらに、助成金申請においては、書類作成やプレゼンテーション能力が問われ、実質的に活動している内容を書類等で表現するのが困難な団体は申請をしても採択されにくい。また、プロジェクトの客観的な成果や裨益者のニーズなど妥当性のある申請書を作成するにあたり、団体の活動目的などを見直していくことが必要だと思われる。中小規模の NGO が自団体にあったスキームを効果的に利用することで、継続的な活動が実施され、支援先である相手国住民への安定的な支援が見込まれる。

名古屋 NGO センターは加盟団体から助成金についての相談が頻繁にあるため、その都度相談のあった NGO に個別に説明をしきた経緯がある。中部 NGO-JICA 中部協議会において議題に上がった NGO のニーズを鑑み、名古屋 NGO センターの協力の元、実施に至った。

2. プログラム内容

研修名：国際協力に取り組む NGO 向け「スキーム活用研修」

実施日：（1 日目）2015 年 3 月 15 日（日）10：00～17：00

（2 日目）2015 年 3 月 22 日（日）10：00～17:00

実施会場：JICA 中部センター セミナールーム

講師：講師 4 名

- ・山崎唯史氏 JICA 東京センター市民参加協力アドバイザー
- ・小池康弘氏 名古屋 NGO センター理事
- ・村山佳江氏 名古屋 NGO センター事務局長代理
- ・門田一美氏 名古屋 NGO センター事務局次長
- ・NGO 相談員 名古屋 NGO センター 1 名、ムラのミライ 1 名、アイキャン 1 名、
外務省民間連携室 1 名、JICA 中部 3 名

参加者：15 団体 18 名

研修内容：

（1 日目）

- ・ワークショップ「プロジェクト形成のための短期目標、長期目標」の分析及び見直し
- ・ワークショップ 助成金及び委託金の活用法、ドナーからの審査ポイント
- ・NGOからの個別相談

(2日目)

- ・申請書作成のポイントをつかむ

概要説明、助成金の特徴、書類審査の特徴

- ・申請書作成のポイントをつかむ（東海地区NGO活動助成金の例を元に）
- ・各スキーム紹介

外務省NGO連携無償資金協力、JICA 草の根技術協力、小規模で活用しやすい助成金一覧

- ・NGOからの個別相談

3. 成果

参加者にとって、気づきの多い研修内容となった。PCM 研修のように事業内容に特化することなく、自団体の強みをいかにドナーにアピールできるか、ということ学ぶことができた。よって、参加した団体にとって、これまでの活動をさらに活かしていくための手段として、自団体の規模にあったスキームの情報を得ることができ、自団体の強みをいかにドナーに伝えることが重要か、という認識ができた。

JICA 草の根技術協力事業 草の根協力新・支援型が新しい制度として実施されるが、本研修を通して、より地域に根差した団体への支援の在り方を再認識することができた。

4. アンケート結果

問1 第1日目：ワークショップ「プロジェクト形成のための短期目標、長期目標」の分析及び見直し、について参考になりましたか？

とても参考になった75%、参考になった25%、普通、不満等0%

問2 第1日目：ワークショップ「助成金及び委託金の活用法、ドナーからの審査ポイント、について参考になりましたか？

とても参考になった75%、参考になった25%、普通、不満等0%

問3 2日目：申請書作成のポイントをつかむ、について参考になりましたか？

とても参考になった66%、参考になった25%、普通8%、不満等0%

問4 2日目：各種スキーム紹介は参考になりましたか？

とても参考になった41%、参考になった50%、普通8%、不満等0%

その他、感想お気づきの点などご記入ください。（特に、参加したいNGOむけ研修についてご意見などをお聞かせください。

- ・今まで助成金を得ることについて興味はありましたが、具体的なアクションを起こせずにいました。今回の学びを通して挑戦してみようと思いました。

- ・草の根技術協力に関して知りたくて参加しましたが、他団体とのつながりができ、草の根のプロポーザルを書く前の第一歩になったと思っています。
- ・このようなNGO向けの研修に参加して勉強をしたいです。

以上